

特集

進学講習 共通テスト対策 需要あり

共テに関心ある 講習内容に納得

96 50
% %

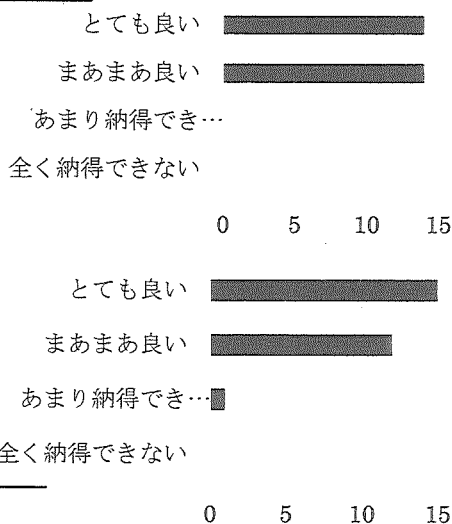
2023年度大学入学共通テストが、1月13・14日に実施された。本校生徒の受験者数は3年次生151人中53人と、やや低い割合である。しかし、本校の夏季・冬季講習は共通テストに特化した内容が多くなっている。この現状を生徒はどのように考えているのか、報道局は1・2年次生にアンケートを実施するとともに、国語科の平岡海優先生に共通テストに特化した講習が多い理由を尋ねた。

共通テストへの関心は報道局では1・2年次のあるクラスの生徒72人にアンケートを実施した。回答者数は62人（回答率86%）。1つ目の質問、共通テストの存在を知っているかどうかには、「はい」と答えた生徒が56人、「いいえ」と答えた生徒は6人しかいなかった。2問目以降の質問には「はい」と答えた人のみ回答している。次に共通テストにどれほど関心があるかを尋ねた。ここで、「非常に関心がある」ともしくは「少しある」と答えた生徒は28人、「あまりない」「まったくない」と

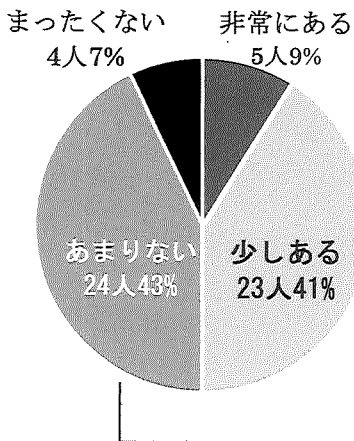
共通テストと講習に関するアンケート

(調査日：1月17日)

講習への納得度



共通テストへの関心



答えた「生徒も28人と二極化していることがわかる。この結果からさらに、関心がある・ないの2つのグループに分け、共通テスト対策の講習が多いことへの納得の度合いを聞いた。「関心がある」「グループでは全員が「納得している」とい

う結果となった。また、「あまり関心がない」グループに「納得している」人が27人と約96%であった。これらの結果から、共通テストへの関心が薄くとも、共通テスト対策の講習には賛成していることがわかった。

「例年の傾向を見て決める」

国語科 平岡先生に聞く

受験する生徒とはまず、どのような生徒が共通テストを受けるのかを尋ねた。基本的には大学を受験する生徒は、国公立大学・私立大学のどちらを志願しているかによって、推薦入試でも「共通テスト受験」という条件が課されて

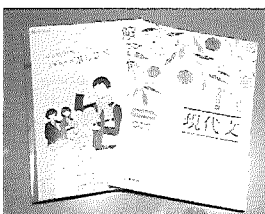
いれば、受けなくてはならないという。しかし、専門学校・就職を志望している生徒や、推薦入試のみを考えている場合など、受験しなくてもよい生徒も一定数いる。にもかかわらず、なぜこれほど共通テスト対策の講習が多いのか。

主な理由として「共通テストには慣れが必要。加えて、個人で対策するのはかなり難しい」ということから1・2年次の講習は共通テスト対策が多くなるといふ。3年次生になると、専門学校・就職等を希望している生徒向けの、面接練習や小論文のトレーニングも用意していくと教えてくれた。

なぜ、それらの練習は3年次生になってから始まるのか。質問すると、「面接で話す内容は、高校生活3年間ですべて経験し、得たものが主になってくる。1・2年次で面接練習をしても、身だしなみの確認などで終わってしまうため面接の練習は3年生から始めている」と話してくれ

現代文の勉強法に悩む生徒は多い。そこで今回、報道局は現代文の成績を上げる方法を教えることにした。国語力を上げる方法として、まず第一に「読解力を身につける」ことが挙げられた。「読解力」とは、文章の内容・筆者の主張を理解する力である。この力をつけるには、模試やよむナビなどの問題の解説を読み、文章への理解を重ねていくことが大切だといふ。

教えて！現代文の勉強法



▲模試の解説(左)とよむナビ現代文(右)

も、問題への慣れが必要になるため、多くの問題を解く必要がある」とした上で、選択式の時は、選択肢のどこが間違っているのか、細かく分けて確認する。記述式では、解説をよく読み自分がどの程度答えの文書を作れたのかを確かめ続けると、徐々に回答のテクニクが身につくといふ。「どこまで書けたかわからないときは、問題と解答、自分の回答を持ってきてくれれば教えてくれる」ともできること頼もしい言葉をいだ

た。今年度はここ数年で初めて、2年次の冬季講習に「小論文対策」が組み込まれた。そもそも講習の内容は、各年次の教科担当同士で話し合っ決めており、「例年の傾向を見て、小論文の対策は2年次から始



▲平岡海優先生

2年B組担任の先生。2年次の現代文を担当されており、今冬の講習では小論文対策を実施された。

めた方がよいと判断した。そのため、今回の冬季講習で小論文の対策を実施することになったが、どのような内容の講習を実施するかは、年次によって異なるため、来年も行うかはわからない」と本校の講習の現状を語った。

効果をより実感するには最後に、学力向上に効果的な講習の受け方を尋ねると「普段の授業もそうだが、予習と復習をすることが」と答えてくれた。授業で講習で教わる前に、一度自分で問題を解いてみる。そして、教わった後にもう一度確認する。この基本的な習慣が、学力向上に一番効果的であるといふ。